



'To acknowledge the duty that accompanies every right'
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2015年9月No.400

Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2014~2015)	クラブ役員 Officers
センテニアルクラブ会長 : 『楽しくそして魅力ある活動を!』 国際会長 : 『信念のあるミッション (使命・目標)』 アジア地域会長 : 『愛をもって奉仕しよう』 西日本区理事 : 『あなたならできる! きっとできる』 中西部部長 : 『和を以って貴しとなす』	会 長 : 何 早林 副会長 : 藤井 大祐 書 記 : 藤原 正巳 ドライバー : 松浦 孝次 会 計 : 大村 肇 メネット会長 : 中村 幸枝 Y連絡職員 : 池田 聡美

Biblical Message of September

更に、イエスは言われた。「神の国を何にたとえようか。どのようなたとえで示そうか。それは、からし種のようなものである。土に蒔くときには、地上のどんな種よりも小さいが、蒔くと、成長してどんな野菜よりも大きくなり、葉の陰に空の鳥が巣を作るほど大きな枝を張る」
 (マルコによる福音書4章 30-32 節)

永遠の言葉

中村 幸枝

エルニーニョ現象が引き起こす異常気象で、猛暑となった今年の夏を乗り越えた私 たち。疲れた体で秋冬へ向かうにはさらに注意をせねばなりません。

次の言葉を見て下さい。○食べ物で治せない病気は医者でも治せない。○あなたの薬は食事とせよ。○人間は誰でも体の中に100人の名医を持っている(名医とは免疫力や自然治癒力のこと)。○食べ過ぎが原因の病気は断食・小食によって治る。○病気は人間が自らの力で自然に治すものであり、医者はこれを手助けするものである。

さあ、いつの時代の誰の名言でしょう。紀元前460年頃の「医学の父」と言われるギリシャのヒポクラテスの言葉です。古代人の言葉にも関わらず、現代にも十分通用すると思いませんか。洋の東西を問わず今も昔も、人間と自然の調和を重視した、まさに永遠の言葉だと思えます。

今もしお腹周り1cm掴めるようでしたら、そこには確実に1kgの脂肪があるということです。通勤・買い物では1駅は歩き、エレベーター等を使わなければ、街はお金のかからない無料のジムになります。そしてバランスの取れた食事も大切です。薬より笑い。笑えばあっという間に免疫力がアップします。笑いは無料。副作用なし。

「・・・にも関わらず笑ってしましましょう」。笑顔のあなた、素敵です。

(次号は坂本哲朗さんです)

September Club Meeting

『Menette』

9月第1例会

日 時 : 2015年9月16日(水) 18:45~20:45

場 所 : ホテルグランヴィア大阪

総合司会 : 坂本 千春 メネット

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 開会 | 中村 幸枝メネット会長 |
| 2. ワイズソング | 一同 |
| 3. 今月の強調月間 | 中村 幸枝メネット会長 |
| 4. 聖句朗読 | 谷川 有美子メネット |
| 5. ゲスト・ビジター紹介 | 中村 幸枝メネット会長 |
| 6. 晩餐 | 一同 |
| 7. 卓話「声(音楽)の魅力」 | テノール歌手: 角地 正直さん |
| 8. 誕生祝い・ニコニコ献金 | 一同 |
| 9. 閉会 | 何 早林 会長 |

お誕生日 : 8月=坂本、芝田、山田、山中、谷川の各メン

9月=井上、大村、藤原の各メン

※プレゼントは巻頭言執筆者の中村幸枝メネットがご用意ください。

例会担当 : 第1班 =大村、芝田、藤井、山田、山中の各メン

9月第2例会

日時 : 2015年9月23日(水) 18:30~20:30

場所 : 土佐堀YMCA会館4階

【クラブ統計 Statistics】

8月		種 別	第1例会	第2例会	BFポイント		ニコニコ献金
在籍会員	19名	メ ン	11名	8名	8月	204g	8月: 0円 納涼例会(震災支援) 55,075円 累 計: 21,500円 ファンド累計 0円
例会出席	11名	メネット	4名	0名	現 金	0円	
うちメーキャップ		ビジター	0名	0名	累 計		
	0名	ゲ ス ト	12名	0名	切 手	204g	
出席率	57.9%	合 計	27名	8名	現 金	0円	



今が旬、ぶどう狩り

A total of 76 Y's men, Y's menettes, Y's lings and guests attended the joint summer lunch of 2 clubs - the Osaka Nishi and the Osaka Centennial - held at Hotel Claiton Osaka on August 23, 2015.

Mr. Sam Fujiwara of the Osaka Centennial club took the chair of the gathering. Mr. Seijiro Shimizu of the Osaka Nishi Club, and Mr. Mitsuo Shibata of the Osaka Centennial club respectively introduced their members, Y's menettes, Y's lings and guests. We were especially happy to have six young students from Myanmar who were the guests of Dr. Takayuki Nakamura. Mr. Michihiro Endo, RD of the Japan West Region played toastmaster's role.

After the lunch, everyone enjoyed music performance by familiar "Backwoods Mountaineers" and hula led by Ms. Yumi Ishida of the Takarazuka Club. The combined band of "Maikai" ukulele club accompanied to the dance.

It was just like a revival of the atmosphere of the night at the Japan West Regional Convention held this June. At the end of gathering, everyone sang together a well-known old Japanese song "Furusato" (our hometown), making a big circle holding hands..

Yen 55,075 was collected as the fund which donated to the Japan West Region for the reconstruction of the devastated area hit by the Great East Japan Earthquake.

イエスという人はとてつもない「夢」を抱いた人でした。暴力と貧困の支配する世界にあって、憎しみや妬みでなく、同情心と愛を提唱されました。イエスはたった一人で始めました。その時かれた愛の種は少しずつですが成長していきました。やがてイエスの愛の言葉と行動に共感した人々が集まってきました。そして、枝を張り、鳥が巣をかけました。いまや、それは森となっています。

(聖句選/コメント：谷川有美子)

(次号は大村肇さんです)

8月第1例会(納涼例会)報告

と き：8月23日(日) 12:30~15:00

と ころ：ホテルクライトン新大阪

夏の暑さも陰り始めた今日この頃。当クラブと大阪西クラブが合同納涼例会を開催、80名余りが参加し一服の暑気払いを兼ね友好をあたためました。まず藤原正巳メンが司会に立ち、西クラブの清水誠治郎会長が開会点鐘。ワイズソング、続いて「私の好きな言葉」(西)、「聖句」(センチニアル・中村茂高代読)が読み上げられ、当クラブのゲスト、ビジターを急きょ参加できなかった何早林会長に代わり芝田前会長が紹介。中村隆幸メンのゲストのミャンマー7名も紹介されると場内から大きな拍手が起きました。

紅いジャケット姿の遠藤通寛西日本区理事の乾杯の音頭で、楽しい昼食が始まりました。

中盤にさしかかり、両クラブの誕生祝いの後、芝田バンドことBACKWOODS MOUNTAINEERSの軽快な音楽で、一気に会場のボルテージは上がり、続いて石田由美・宝塚クラブメネット率いるフラチームがウクレレバンド「MAIKAI」の演奏に合わせて華やかにフラを披露しました。ニコニコ献金 55,075 円はすべて東日本震災支援金に充当され、全員で「ふるさと」を合唱して幕を閉じました。(4頁写真)

(中村 茂高)



BF 報告

芝田	ワイズメン	24 g
山中	ワイズメン	180 g
	計	204 g



フラチームとウクレレバンドで会場は最高潮に！

谷川 寛

8月初め IBC Triangle のために来日された香港ポヒニアの直前会長 Margaret Lo さんから、京都ダイヤモンド・ソサイエティでの Coffee Break の際、聞いたお話を紹介します。

香港が中国に返還された折、彼女の友人で New Zealand に移住した夫婦がいました。大金持ちで現地に大邸宅を購入、延々と緑広がる丘陵地で、毎日、ゴルフ、魚釣りにと悠遊自適の生活をおくっていました。来る日も来る日ものどかなで毎日、時には自分達以外の人と出遭うことのない日もあるそうです。

その友人が先日、久しぶりに香港に里帰りするということで、香港に出迎えに行きました。白髪で日焼けして猫背の外国人女性が笑いながら、Margaret さんに、ゆっくり近づいてきました。人違いかと思ったその人が、なんと、昔の彼女の香港時代の友人でした。すっかり老けてしまい、昔の面影は何処へやら。。だったそうです。

先日、発表された国連統計で、なんと香港と日本の女性の「平均寿命が世界一」と発表されました。香港は住宅事情の関係もあり、朝から外食し、他所の人と接触、おしゃべりをして過ごすのが日課。多少空気は悪くとも、いろんな人々と出会い、刺激しあうことが活力の源泉になっている、と Margaret さんは言います。

ご自分もそろそろリタイアする年齢だが、相変わらず外へ出掛けて行き、お年寄りの世話を毎日忙しくしている。香港は日本ほど政府の社会福祉が完備していないので、民間の NGOs が恵まれないお年寄りを世話することが大切だ、と強調。ワイズの会長職は引退したが、これからも世界各地を訪ねて、ワイズを含めた NGO の奉仕活動を続けたい、と付け加えました。わずか2泊の滞在でしたが、日本での交流を深め、私たちにも大いに刺激を与えて日本を去りました。Margaret さん！これからも元気で活躍を祈ります。

写真：香港ポヒニア・ワイズ直前会長の Margaret Lo さん。(写真提供は藤原ワイズ)



8月第2例会報告

と き：8月26日(水) 18:30~19:30

ところ：大阪 YMCA 会館4階

出席者：石津、芝田、中村隆、中村茂、藤原、松浦、三浦、山田の各メン

報告/審議事項

- ① 11/3 とさぼりカーニバル 出店見送り
ウクレレ出演要請(芝田) センテニアルのみ
- ② 9/19 中西部会 申し込み締切 9/10
- ③ ゲストスピーカーバンク登録
候補者：山中、谷川、藤原
- ④ 10/12 チャリティー・ラン(三浦) 2チーム予定
- ⑤ 10/3 中西部 EMC シンポジウム(大阪 Y・9F)
懇親会(徐園) 4千円
- ⑥ 山田メン奈良傳賞受賞祝賀会
9月24日(水) 18:30~
但し 18:00~18:30=第2例会開催
イタリアレストラン「ラルゴ」中之島フェスティバル
タワー12階
- ⑦ ハイキング&バーベキュー=グルスケで参加者集計
10/11(日) 12:00~、京阪・星田集合。坂本宅
- ⑧ 10月第1例会「ワイン・テスティング」
10/21(水) 卯乃家 ヒルトンウエストプラザ B2F
- ⑨ 11月「かに例会」11/22(日)~23(祝)
城崎温泉椿野旅館 2万6千円(旅館代、交通費等別)
(第2例会議事録より抜粋)

YMCAニュース

☆第21回大阪YMCAチャリティーラン2015

第1回実行委員会を開催しました。

- 1) 運営体制の確認
- 2) 大会日程・会場の確認
10月12日(祝・月) 9:00~13:00
花博記念公園鶴見緑地特設コース
- 3) 運営方法(競技方法)の確認
①たすきリレー：タイムを競うレース
②グループラン：チームで楽しむファンラン
③ファミリー・キッズラン：家族単位で楽しむファンラン
④10kmラン：個人種目
- 4) エントリー費
①② 30,000円 / ③④ 3,000円
- 5) オリジナルTシャツ
1着 1,500円 オレンジ色

☆とさぼりカーニバル並びに南YMCAファミリーカーニバル

11月3日(祝・月)開催

☆第270回早天祈禱会

日時：10月16日(金) 7:30~8:30

場所 大阪YMCA会館 10階チャペル

証し 林 美恩さん

(池田 聡美)



何早林ファミリーinハワイ

チームワークもばっちり！



藤原メンの名司会ぶり



ラリーさんもメイさんも元気な様子



回を重ねるごとに優雅さを増すフラ



アルバートはやはりハワイが似合う

後記

突然秋が訪れたような気がします。以前駅で買った文藝春秋を思い出し、最近、皆さんもご存知のお笑いタレント又吉直樹の芥川賞受賞作「火花」を読みました。お笑い芸人を描き、実力と夢追いの現実のギャップを思い知らされるような作品です。

「ダニー、音楽に誠実であれ。ジョン」と書かれた手紙。映画「ダニー、君へのうた」は、ジョン・レノンが新人アーティストに宛てた励ましの手紙が、数十年を経て本人に届いたという実話を描いた作品です。「裕福になろうが、貧乏になろうが、君の考え方が変わるわけではない。感情や人との関係は変わるものでもない」と書かれていたようですが、「火花」と「ジョンの手紙」に夢を追うことの意味を考えさせられました。

S.N